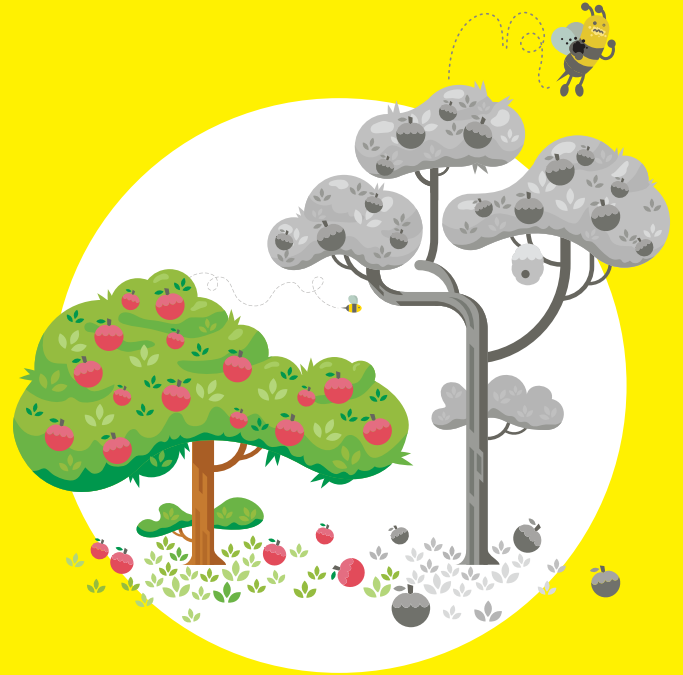
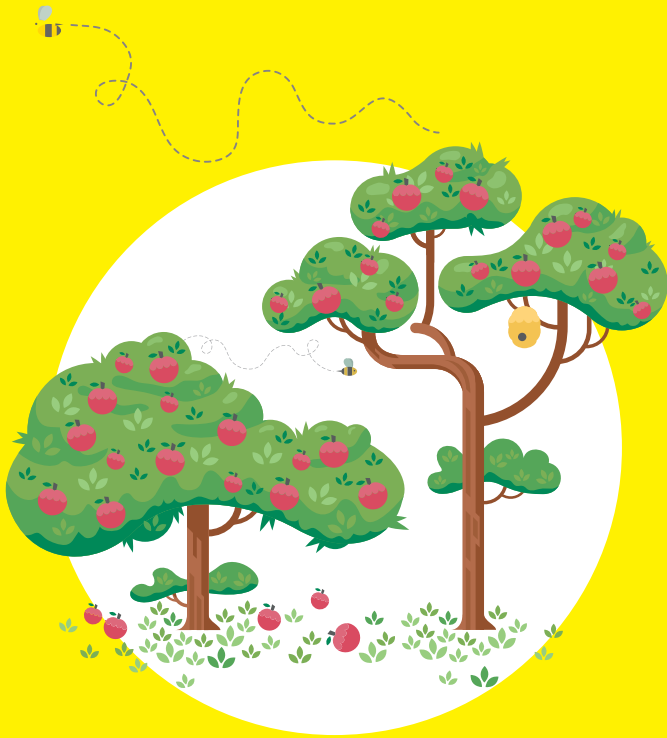


ネオニコチノイド系農薬って？

No Bees, No Life:

Questions about Systemic Pesticides

<http://www.actbeyondtrust.org/>



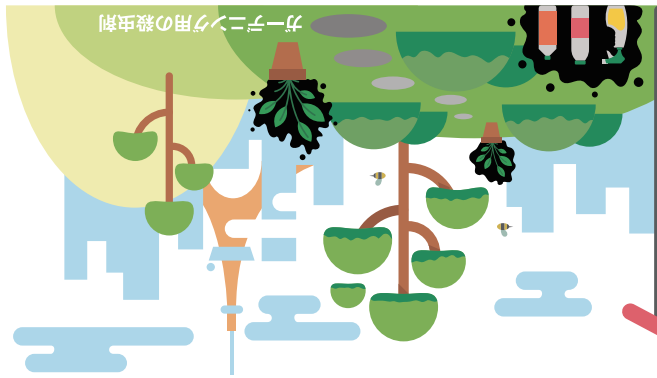
<http://www.actbeyondtrust.org/>

ネオニコチノイド系農薬は、アセチルコリン受容体と結合して神経伝達物質の働きを阻害する。これにより、植物の成長や生殖機能が低下し、最終的に死に至ることが多い。

一般的にネオニコチノイドと呼ばれる化合物は、アセチルコリン受容体と結合して神経伝達物質の働きを阻害する。これにより、植物の成長や生殖機能が低下し、最終的に死に至ることが多い。

1990年代に登場し、現在世界で一番使われている殺虫剤と比べ、ネオニコチノイド系農薬は主因のひとつと考えられる。

***2013年12月に、EUは「ネオニコチノイド系農薬2種とトトの神経発達障害に関連する可能性」を公表した。これは「トトの細胞を専門家が調査して導かれた結論。これにより、ヨーロッパでは今後、ネオニコチノイド系農薬への規制がいつぞう厳しくなることが予想される。



ネオニコチノイド系農薬？

Systemic pesticides?

農地や松林などで害虫駆除剤として大量に使われています。

ハチの大量死と関連？**

ハチと一緒に植物の間々まで浸透

粒状、粉状、液状

地上で散布

作物の種子にコーティング

家庭や身の回りでも使われています。***

コキリやシロアリなどの害虫駆除剤

神経発達障害と関連？***

ハチのミ取り

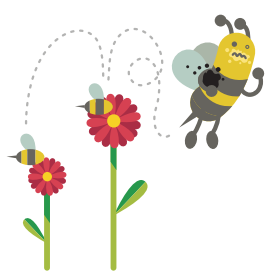
どんな農薬？ どんな影響があるの？

What are they? What's their impact?



ハチは農家にとっても大切!

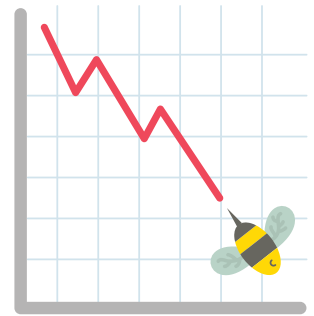
Be Good to Bees!



ハチは花から花へ花粉を運ぶ「花粉媒介者」



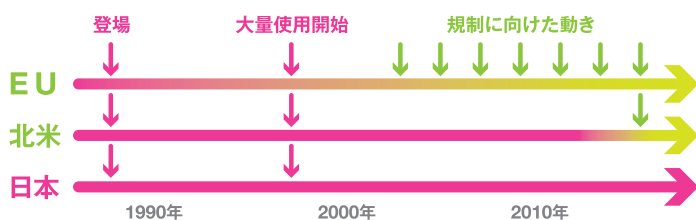
100種類もの農作物が実をつけるのを助け、生産効率だけでなく品質にも大きく影響



ハチがいなくなると全世界で20兆円以上の経済的損失

日本は遅れてる! 対策へのとりくみ

Falling Bee-hind in Actions and Restrictions



EU

- 3種類のネオニコチノイド系農薬とフィプロロニルが2年間暫定的に使用禁止
- 神経発達障害との関連を懸念する見解を公式発表



北米

- 「ハチへの危険性」を警告するラベル表示の義務化



日本

- 規制なし
- 残留基準の緩和
- 認知度も低い

本を読む

『ミツバチ大量死は警告する』岡田幹治(集英社新書)
『新農業ネオニコチノイドが日本を脅かす』水野玲子(七つ森書館)
『ハチはなぜ大量死したのか?』ローワン・ジェイクソセン(文藝春秋)
『美味しんぼ(105巻)』 雁屋哲作・花咲アキラ画(小学館)
『新農業ネオニコチノイドが脅かすミツバチ・生態系・人間』
NPOダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議
<http://kokumin-kaigi.org/wp-content/uploads/2011/03/Neonicotinoid2012-11.pdf>(PDF版無料ダウンロード可)

まずはネオニコチノイド系農薬をもっとよく知りましょう!

ネットで調べる

アクト・ビヨンド・トラスト <http://www.actbeyonddtrust.org>
NO!ネオニコ <http://no-neonico.jp/>

できることからやってみる

グリーンピース・ジャパン <http://www.greenpeace.org/japan/>
ミツバチ認証 <http://bee-garden.jp/mitsubachi.html>